

大軍拡・大増税、大型公共事業、自治体のあり方 ながた候補と他候補との違いくっきり

市長候補4人が勢ぞろいして1月30日、パークサイドビル（小倉北区）で行われた合同個人演説会。各候補者の演説、他候補への質問などを通じ、その違いが浮かび上がってきました。

YouTube「北九州市長選挙合同・個人演説会」の視聴は
コチラから



↑合同・個人演説会に参加したながた候補

▼市民の暮らし雇用を守る北九州を

ながた候補は冒頭演説で、「市民のみなさんの声を受け止めて市政に生かしていく」と強調。長年続いた大型開発市政で、市の借金が膨れ上がっていることに触れ、さらに3500億円もかけて下北道路を作る必要はない、と力を込めました。

長引く円高や物価高で市民の暮らしや中小業者の経営が追い詰められていることを指摘し、「暮らし応援、中小業者を支える北九州に変えていきたい」と訴えました。

具体策として、学校給食の無償化、子ども医療費、国保料の無料化を実現し、思い切って子育て支援に取り組むこと、高齢者支援として、福祉乗車券、補聴器購入の補助、若者が希望を持って働ける北九州にするため、高い授業料・奨学金の改善や、自治体が積極的に正規雇用を増やし、安心して働ける北九州にしたい、と語りました。

また、再エネ、省エネ対策でCO₂ゼロを実現し、この分野で経済の活性化、若者の雇用を増やしていける街にしたい、と強調しました。

▼大軍拡・大増税で違いクッキリ

冒頭発言でも岸田内閣による大軍拡・大増税を批判した永田候補。他候補への質問でも「大軍拡・大増税の政治についてどのような態度でのぞみますか」と問いかけ、その違いが浮き彫りになりました。

武内候補は「戦争には絶対反対」としながらも、「ムダなところを検証し、ていねいに議論、合意形成することが大事」と回答。

津森候補は「国防については国の専管（事項）」と答えた上で、「国と意見を交わす。そのためには国とのパイプも必要」と強調し、大軍拡・大増税にきっぱり反対する態度は示しませんでした。



↑30日八幡西区ハローディ前からねり歩き



期日前投票に行きましょう！（土日でもできます）

区役所（8時半～20時）、出張所（8時半～17時）

セントシティ、イオン戸畑、イオンモール八幡東でも投票できます

